



(1) 第 8 回定期総会議事のご報告

6 月 12 日（金）13 時 30 分より、東京・文京シビックセンター区民会議室 A/B において、当法人の第 8 回定期総会が開催されました。

先ず、田村事務局長より平成 27 年 3 月末現在の会員数は 162 名（個人会員 160 名、法人会員 2 社）で、当総会出席会員数は 105 名（うち委任状による出席 69 名）であり、定款第 27 条に定める定足数を充たしており、総会は有効に成立し、各議案とも適法、適切に審議できる旨報告されました。

ついで議長に宇野理事長を選出して、議案の審議に入りました。議長より審議の進め方につき、第 1 号議案と第 2 号議案、第 3 号議案と第 4 号議案は相互に関連しているので、それぞれ一括して議案内容を説明した後に、審議を願いたい旨提案し、承認されました。

第 1 号議案「平成 26 年度事業報告書」及び第 2 号議案「平成 26 年度活動計算書」については、平成 26 年度は、平成 25 年度増額した 220 万円の継続的国際支援、及び当法人設立以来の留保利益を取崩して実施した OK バジ在ネパール 20 周年記念支援 100 万円に、会員の自発的支援プロジェクト（受託支援）375 万円が加わり、国際支援事業合計は過去最高の 695 万円となった。しかしながら、東日本大震災被災支援事業は当法人の方針に適った支援先を見出すことが難しく予算を下回る実施に止まったこと、若手会員増強の具体的な施策展開ができなかったことなどが今後の課題として残ったことが報告されました。

年度の収支状況については、会員、個人寄附金、「食卓の貯金箱」収入が前年度実績を下回ったものの、事業収益の増収、管理費の抑制で、当期収支は予算▲101 万円を若干下回る▲93 万円となったことが説明されました。（次頁の平成 26 年度活動計算書をご参照下さい。）

早川監事より、会計監査の結果、NPO 法に定められた会計原則に準拠し適正に処理されていること、日常の業務執行状況も法令に準拠し円滑に運営されていることが確認できた旨の報告がありました。

出席会員から、会員からの受託支援について質問があり、当法人の活動目的に適った支援内容であるかぎり、基本的には会員や支援先の考えを尊重している旨理事長より回答され、了解いただきました。

審議の結果、**第 1 号議案及び第 2 号議案は、いずれも異議なく原案通り承認・可決されました。**

第 3 号議案「平成 27 年度活動計画書」及び第 4 号議案「平成 27 年度活動予算書」については、平成 27 年度の国際支援事業は、平成 26 年度に実施した特別支援がなくなり平年度ベースで実施すること、東日本大震災被災支援は平成 26 年度の予算ベースを継続・維持して実施することに加え、当年度 4 月に発生したネパール大震災による被災地の救援事業を行うことを活動計画の骨子とし、支援者層の拡大を目指した当法人ホームページの全面的改訂や在庫払底した「食卓の貯金箱」の追加印刷などの特別費用発生を組入れた予算を編成した旨の説明がされました。（次頁の平成 27 年度活動予算書をご参照下さい。）

出席会員からは、支援先訪問ツアーを毎年実施していることが当法人の事業活動のユニークな点であり、国際交流も国際支援事業の一つとして明確に位置付けるべきであること、会員及び協力者とのコミュニケーションにコスト意識は当然必要ではあるが、心の交流という視点も配慮すべきであるなど貴重なご意見がありました。理事長は、ご意見を十分受け止めて今年度の活動運営を行うことを約しました。

審議の結果、**第 3 号議案及び第 4 号議案は、いずれも異議なく原案通り承認・可決されました。**

以上で議案すべての審議を終了し、議長は 15 時 3 分に総会を閉会いたしました。

平成26年度活動計算書並びに平成27年度活動予算書

(金額単位 千円)

科 目	H26年度 実績	H27年度 予算	備 考
経常収益			
会費収入 注①	855	900	注①H26年度末 個人160名 法人2社
寄附金収入	5,969	5,100	H27年度末 個人170名 法人2社
(個人・法人寄附金)注②	(4,305)	(2,300)	注②受託寄附を含む
(食卓の貯金箱)	(1,664)	(1,800)	
(ネパール被災救援金)注③	(0)	(1,000)	注③H27年度4～9月実施
事業収入	733	660	
(催事収入)	(555)	(550)	
(紅茶販売収入他)	(178)	(110)	
計	7,557	6,660	
経常費用			
事業費			
人件費	0	0	
国際支援 注④	6,956	3,700	注④H26年度 ネパール5,950千円(含む受託)、 タイ 600千円、インド 400千円
東日本大震災被災地支援	100	300	
ネパール復興支援	0	1,000	H27年度 ネパール2,700千円(含む受託)、 タイ 600千円、インド 400千円
催事開催費用	304	300	
その他	180	150	
(事業費計)	(7,540)	(5,450)	
管理費			
人件費	0	0	
総会等催事開催費用	16	20	
家賃	277	278	
通信運搬費 注⑤	324	350	注⑤ 印刷物発送代、ネット使用料等
旅費交通費 注⑥	137	200	注⑥ 理事会、季刊紙編集会議出席者交通費
備品消耗品費 注⑦	71	80	注⑦ 封筒等の印刷代、印刷用紙購入代
その他 注⑧	118	250	注⑧ H26年:PC新規購入、ソフト変更など、H27年: HP改訂費、貯金箱印刷代など特別費用発生
(管理費計) 注⑨	(943)	(1,178)	注⑨ 経常利益比 H26年:12.5%、H27年:17.7%
計	8,483	6,628	
当期経常収益	▲926	32	
前期繰越財産	4,520	3,593	
次期繰越財産	3,593	3,625	

(2) OK バジ帰国報告会

5月末に一時帰国されたOKバジは、6月9日に埼玉・鴻巣で、12日に総会終了後の会場で、24日に横浜で帰国報告をされました。今回は、主にご帰国直前に訪れた東パルパ地域で震災被害が大きかったサハルコットのスケコット村の様子を撮影した写真などを使いながら現地状況を話されました。また、11日には淑徳大学(千葉キャンパス)で約140名の学生を前に講義をしていただきました。

今後は、7月2日神奈川・大和(大和市生涯学習センター)で、7月7日仙台(エルソーラ仙台)で、7月13日千葉(千葉市生涯学習センター)で、開催が予定されていますので是非ともご来場下さい。

なお、報告会の模様は次号でご報告いたします。

《編集後記》総会で、当法人の支援活動を当初から支えてこられた会員の方がたのお話を聞いて、活動の原点を忘れてはならないことを改めて痛感いたしました。(編集担当:KT)

若竹の携ひて風の行方追ふ 中井 啓子

<p>認定 NPO 法人 いきいきフォーラム草の根支援</p> <p>〒113-0023 東京都文京区向丘1-7-8 コミュニティ・スペースほのぼの内</p> <p>TEL/FAX 03-3816-5346 E-Mail f-kusanone@tcn-catv.ne.jp</p> <p>http://www1.tcn-catv.ne.jp/ikiki-kusanone</p>
--